

科目名	理学療法概論			授業の種類	講義	講師名		
授業回数	8回	時間数	15時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科1年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕								
理学療法のような領域を理解し、理学療法士に必要な問題解決能力、コミュニケーション能力などを養うことを目的とする。								
〔授業全体の内容の概要〕								
講義形式、グループワーク、学生による発表などを取り入れ、能動的な学び理解をサポートする。								
〔講師の実務経験〕								
みきやまりハビリテーション病院にて主に脳血管障害に対して12年間理学療法士として従事する。								
〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕								
グループの中で建設的に自分の意見を言える。また自分の意見をレポートとしてまとめられる。								
回数	講義内容							
1	理学療法の概念							
2	理学療法の対象							
3	理学療法の方法							
4	理学療法士の活動分野と求められるもの①							
5	理学療法士の活動分野と求められるもの②							
6	診療報酬制度、介護保険制度、個人情報管理についてのグループワーク①							
7	診療報酬制度、介護保険制度、個人情報管理についてのグループワーク②							
8	グループ発表&まとめ							
定期筆記試験								

## 【 準備学習・時間外学習 】

## 【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
理学療法概論テキスト	細田 多穂	南江堂

## 【 単位認定の方法及び基準(試験やレポート評価基準など) 】

成績は、筆記試験にて評価する。